

新型クラウン用が間もなくリリース
絶妙なスタイルと走りを両立する



今月の THIS MONTH
ピックアップ PARTS

ピックアップ
パーツ

02 SUSPENSION

BLITZ ブリッツ

DAMPER ZZ-R

ダンパーダブルゼットアール

- 価格 未定 ■ 対応 クラウンクロスオーバー (2022年9月～)
- 仕様 全長調整式、減衰力32段階調整、強化ゴムアッパーマウント、バネレート(前後6.0kgf/mm)、車高調整範囲(前-70～0mm/後-60～-25mm)

※ 製品画像は参考になります。

©ブリッツサポートセンター ☎0422-60-2277 <https://www.blitz.co.jp/>



安定性を高めて
乗り味はマイルド



従来セダンのクラウンに比べるとバネレートは柔らかくSUVらしい柔軟でマイルドな乗り味。ロールや前後の揺れもしっかりと抑えた高い安定感と、軽快な走りが好印象だ。

FRONT



REAR



装着車両はRSグレードとなり、前後ともにバネレートは6.0kgf/mmの設定。車高調整範囲は、前が-70～0mm、後が-60～-25mmとなっており、撮影車は推奨車高にセッティング。前-41mm、後-48mmの設定。



ダンパーZZ-Rは、単筒式に全長調整式を採用。32段階の減衰力調整機構が備わり、街中から高速走行まで快適な走りを実現。発売開始は夏前頃を予定している。

微妙な減衰設定で
好みの乗り味を追求

標準モデルと同タイミングで発売を予定しているのが、減衰調整を車内から行えるスペックDSC。最大96段の細かい減衰力調整に、走りに応じたフルオート設定も可能な上位モデルだ。



昨年登場した16代目クラウンクロスオーバーは、新開発プラットフォームの採用や、FRからFFベースの4WDへの変更、後輪操舵のDRS搭載など、従来のセダンとは異なるキャラクターに仕上がっているが、その最新クロスオーバーに対して、絶妙なローフォルムと乗り味を与えてくれるのがブリッツの人氣車高調、ダンパーZZ-Rだ。ブリッツのダンパーZZ-Rは、SDLと呼ばれるサスペンションシミュレーターに加え、実走テストを重ねることで、車種に合わせた最適なセッティングを施し、スポーツ性能や上質な乗り心地を実現。新型クラウンに対しても、全長調整式に減衰力32段階調整などハイスペックな仕様で、良質な走りを追求した仕上がりになっている。

さらに、より幅広い調整を可能とするスペックDSCも設定するなど、こだわり派も満足できるモデルとなっている。